

令和3年度 呉市立蒲刈中学校 教育構想

呉市立蒲刈中学校長 柿林 浩彦

- 【ミッション】 小規模校の良さを生かしグローバル社会で活躍できる生徒の育成
 【ビジョン】 地域創生の核となる学校
 【学校教育目標】 『未来を拓く生徒の育成』

≪めざす生徒像≫ 変化に柔軟に対応し挑戦する生徒 「深く」「先を見て」考え行動する生徒 仲間と協働し切磋琢磨する生徒 地域を愛し協働して貢献する生徒 夢を抱き自ら夢への道を拓く生徒	≪めざす教職員像≫ 変化に柔軟に対応し挑戦する教職員 情熱をもち自己研鑽する教職員 愛情をもち子どもに向き合う教職員 生徒の意欲と自律心を育てる教職員 保護者や地域から愛される教職員	≪めざす学校像≫ 変化に柔軟に対応する学校 地域と連携し地域創生の核となる学校 自律・協働のもと組織的に動く学校 地域から愛され地域に貢献する学校 笑顔あふれる楽しく温かい学校
---	--	---

【経営理念】 「少人数だからできる教育・蒲刈だからできる教育の創造」

【経営目標】 社会に開かれた教育課程の創造
～学びのエリア展開と地域資源の活用を通して～

【研究テーマ】 学びを活かし課題解決を図る児童生徒の育成
～授業改善と地域の学びを通して～

- 【学校体制】
- 1 小中一貫教育を推進し発達段階に即した効果的な指導をする。
 - 2 「教えて考えさせる授業」をベースに主体的・対話的で深い学びを促進する授業改善を行う。
 - 3 ICT機器を活用し、個別最適化された学びを最大限提供する。
 - 4 地域の課題と向き合い、地域と協働した「ふるさと学習」を系統的・教科横断的に発展させる。
 - 5 エリアや地域資源を活用して学びの場を積極的に広げる
 - 6 主任等を中心とした教職員のOJT等により、組織力の向上を図ることで働き方改革を推進する。

【中学校区で育成を目指す資質・能力と取組実践】

資質・能力	目指す生徒像	具体的な力	取組実践
知識・技能	学んだことを実際の社会や生活で生きて働かせる児童生徒	身に付けた学習内容を他の学習や生活の場面で活用できる。	○「教えて考えさせる授業」をベースにした授業スタイル確立 ○「調べる」「説明する」「振り返る」ことの効果的な設定 ○宿題や予習、復習などを活用した家庭学習の充実 ○100問テスト、ドリルタイム等による基礎・基本の確実な定着
思考・判断・表現	未知の状況にも対応できる児童生徒	知識及び技能を活用して、課題解決や未来を拓く行動ができる。	○「学び合い」による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○読書活動やNIE教育の充実 ○学校図書館やICTの積極的な授業での活用 ○体力づくりのためのサーキットトレーニング等の習慣化
自己の生き方を考える力	学んだことを人生や社会に生かそうとする児童生徒	夢の実現に向けて自己の生き方を考え、よりよく生きるための行動ができる。	○3年間を見通したキャリア教育の展開 ○多様な生き様に触れ自己の生き方を考える「未来を拓く100の出会い」 ○挨拶・返事・靴揃え、5分前行動、掃除、後片付けの徹底 ○地域資源の活用による多様な価値観との出会い
協働的に関わる力	郷土を愛し、協働して貢献できる児童生徒	郷土や仲間を愛し、相手の気持ちを尊重して協働し、積極的に貢献できる。	○地域の課題を解決する態度を育成する「ふるさと学習」の充実 ○生徒会活動を中心とした生徒の自主的活動の奨励 ○生徒の自己肯定感の向上に資する小中合同行事の充実 ○地域ボランティア等地域活動への参加の奨励